

# 水沢VLBI観測所の今後の運営

本間 希樹

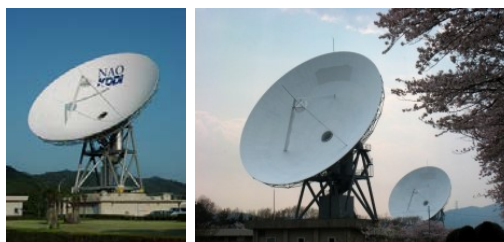
国立天文台 水沢

# 水沢VLBI観測所が運用に関わる装置

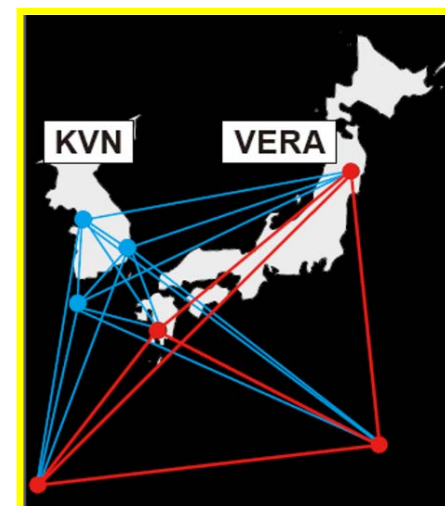
## VERA



## Yamaguchi / Ibaraki & JVN



## KaVA



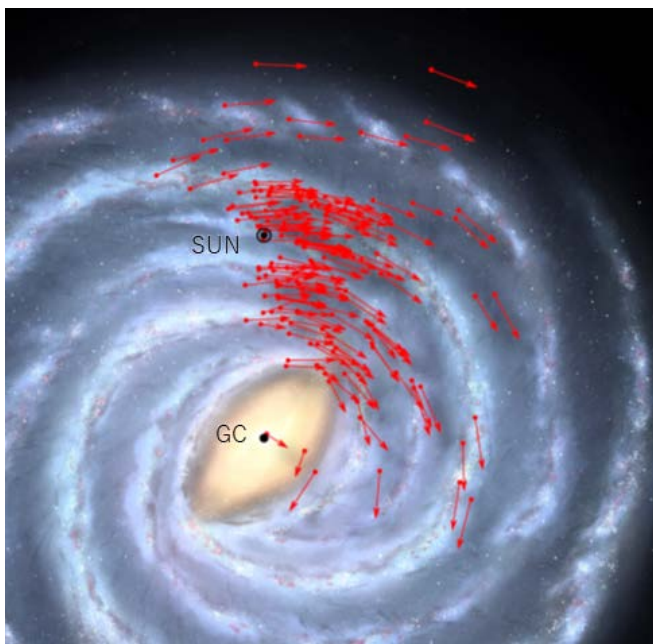
## EAVN



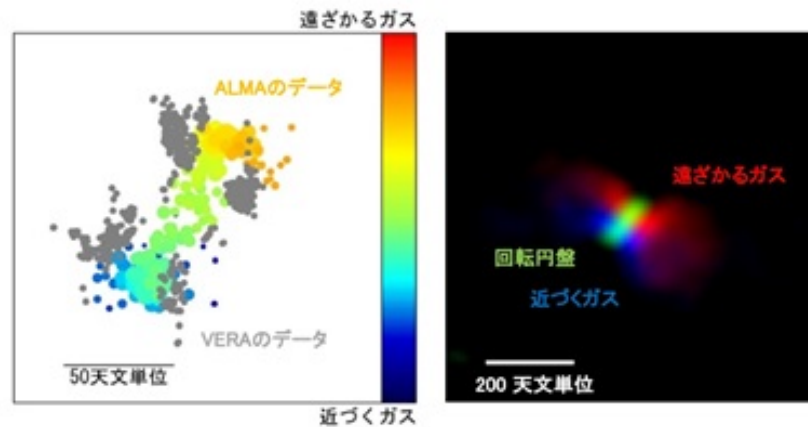
## EHT

# 研究テーマ

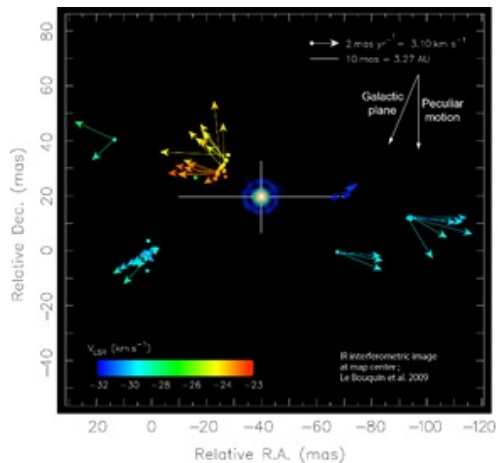
銀河系



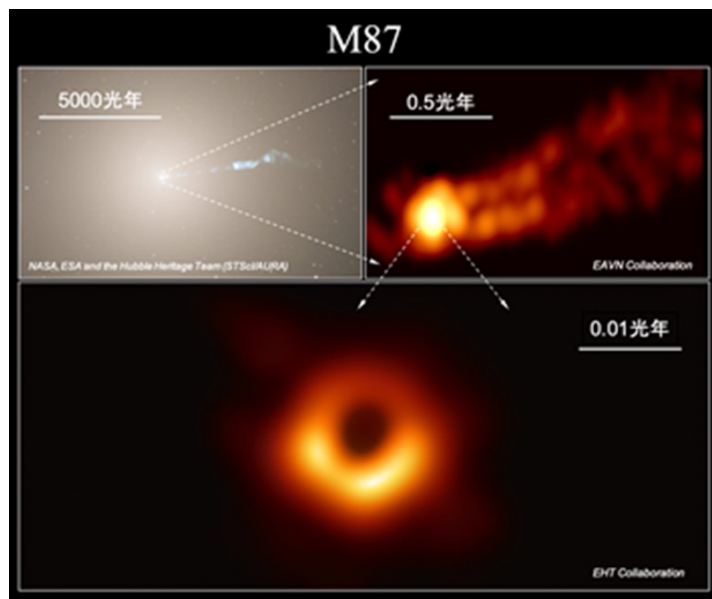
大質量星形成



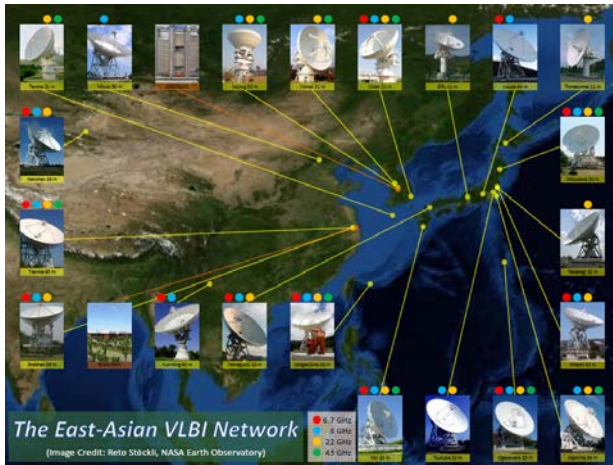
晩期型星



AGN



# 将来: EAVN → Global VLBI with SKA



## 研究対象

AGN・ブラックホール  
メーザー天体  
銀河系  
+  
パルサー  
SETI など

# 現在の体制

- 予算規模 約6億（2018年実績、大学連携込み）
- 水沢VLBI観測所職員 45名  
（含む研究教育職 10、ポスドク5）
- 各大学、研究機関（コミュニティ）  
スタッフ＋学生総勢100名規模  
（c.f. V懇会員139名）  
  
（＋アジアのVLBIコミュニティ 100名規模  
国内SKAコミュニティ 100名規模）

# 長期的見込み

- 水沢VLBI観測所の予算の予測値  
3年後に半減

別に予算が獲得できない場合VERAのアンテナ  
は最低1台停止する公算大  
水沢のスタッフも大幅減（ポスドクすら0?）

運用経費の一部負担などご協力いただける方、大歓迎です

- SKAの見込み  
大きな装置開発の経費が取るのは容易ではない  
天文台＋コミュニティでの人的貢献が中心になる？

VLBIコミュニティとして

ご意見をいただければ幸いです。